

中齋塾 東京フォーラム  
平成 24 年 第 5 回講話

平成 24 年 6 月 9 日  
於 湯島聖堂

代表幹事の挨拶で「日本の体たらくは…」という部分において、一つの回答ではないですが、なる程と思わせてくれて参考になる本だと思います。読んでみましたら、人によっては本気で読む、または眉唾だという人もいるでしょう。それぞれ色々な受け止め方がある本だと思います。

紹介書籍

『最終目標は天皇処刑 - 中国「日本開放工作」の恐るべき全貌 - 』ペマ・ギャルポ著 飛鳥新社

田中元首相と福田元首相の時代で 40 年前の資料を基にしています。中国が日本に対してどう考えているか、または、どういう手を打てば良いかという基本的なことを述べています。

中身を少々申せば、日本列島を半分に分断し、上半分を日本自治区にして日本人を半分の国土に強制的に移住をさせて、下半分に中国人を移住させるという話です。マンガでこのような話がありました。それを現実に中国政府が考えて具体的なものを作っているというのは、眉唾だと思っ方が大半だと、私もそう思います。著者はチベット人のペマ・ギャルポさんで日本に亡命、帰化をした人です。

ただ、この本で気になったのは、中国から侵略された時には、チベットは平和ボケをしていて外国から侵略をされた事がなく、どこからも攻められないと国民は考えていたところに中国が侵略をしてきた。中国との最初の約束は、ダライ・ラマには一切手をつけず、チベット人の宗教信仰の自由を保障し、チベットの物、人は何も強奪はしないと云う様な事を約束して、偽造した判子を渡し無理やり押させて条約を結ばせました。その後は、あっという間に約束は破られ、植民地化が実行されたという事を本人が体験しています。ちょっと似ているなと感じたのは、日本は平和ボケをしていて外国が侵略するわけがないと、今の日本人は思っているところです。

チベットが侵略された時と同じような状況に日本は進んでいると、この本には随所に書かれています。

資料編「日本解放第二期工作要綱」  
基本戦略

日本の平和解放は、三段階において達成する。

第一期目標、我が国との国交正常化

第二期は、民主連合を結成する

第三期は、日本人民民主共和国の樹立

天皇を戦犯の主格として処刑する、田中内閣が政治主体の任務は、民主連合制度の形成準備の完成することにあるというのが基本戦略。私がおやおやと思ったのはマスコミの部分です。

#### マスコミ工作

大衆の中から自然発生的に沸き上がってきた声を世論と読んだのは、遠い昔の事である。今日では新聞・雑誌を含める、いわゆるマスコミは世論造成には不可欠の道具に過ぎない。マスコミを支配する集団の意志が世論を作るのであるというのがマスコミ工作で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ、特にテレビ・ラジオにおいては資本主義国の娯楽であって、政府の人民に対する意志伝達の媒介体ではない。この点に特に留意し、娯楽として利用することを主点とするべきである。具体的な方向を示せば、性の解放を高らかに謳いあげる劇、または映画、本能を刺激する音楽、歌謡等は好ましい。反面スポーツに名を借りた根性ものと称される劇、映画、映像、または歴史映画、歌謡並びにふるさと歌祭り等の郷土愛、民族一体化を呼び覚ますものは好ましくない。前者をより多く、後者をより少なく取り上げさせるよう誘導させねばならない。この辺はアメリカの GHQ が日本に入ってきて、おこなった 3S (スポーツ、セックス、スクリーン) 政策と同じです。

#### 政党工作

連合政府について、日本の内閣総理大臣は衆参両院の本会議の首班指名選挙を行って、選出される。両院で議員総数の過半数を掌握すれば、人民の意志とは関係なく、任意の者を総理となし得るのである。

国民がどう思おうと関係ない。これは田中内閣の頃 (1972 年) ですから、その当時の現況で云えば自民党の両院議員中、衆議院では約 60 名、参議院では 10 余名を獲得して在野党と同一行動を取らせるならば、野党連合政府は容易に実現する。この方式をとるのならば、社会党、公明党の発言権を益するに留まり、かつ最大の単独多数党は、依然として自民党である。この二点は日本自民共和国成立の根底となるのは明らかであるので、自民党、社会党、公明党、民主社会党は全て最終的には打倒されるべき階級の政党であることを忘れてはならない。

私がおっかないなと思ったのは、議員を個別に掌握することです。

#### 政党工作

国会議員を個別に掌握して、秘密裏に本工作せよ。第一期工作組がすでに獲得したもの

を除く。残余の議員全員に対し接触線を最小四線設定にする。各党の党内派閥の有力者については、秘書、家族、強い影響力を持つ者の三者に、個別に接触線を設定する。接触線の設定後、議員身上調査書の拡充を期し、公私生活の全貌を細大漏らさず了解をする。そして掌握した議員を掌握しておくものと、妥当排除すべき者と区別し、掌握すべき者には、連合政府の樹立のみに利用するものとする。連合政府から共和国政府の樹立の過渡期においても利用するものと区別をし、妥当排除するものはその議員の党内における勢力の発言権を低下させ孤立に向かわせる事をいう。掌握については、その議員の弱点を利用する。金銭、権力、名声と欲するものを与え、または約束をし、必要があれば中傷、離間、脅迫、秘している私事の暴露等、いかなる手段を使用してもよい。敵国の無血占領がこの一事に懸かっている事を思い、いかなる困難、醜悪なる手段も厭うてはならず、神聖なる任務の遂行として、やり抜かなければならない。

#### 自民党工作

自民党派閥内の対立を激化させる。自民党総裁選挙時における派閥内の権力闘争は常に見られる現象で通常は総選挙を経て若干緩和され、一つの党として受けて曲がりなりにも保持している。今回はそれを許してはならない。田中派と福田派の対立の継続的激化、田中派と大平派と三木派の離間、中間五派の不満感の扇動等を主として、現在工作を展開中であるが、自民党を今後解体させ、多数の政党に分裂せしめる。で、多数の政党に分裂することに工作を進めると、表面的には思想、政策の不一致を口実としつつも実質的には権力欲以外の分裂が望ましく少なくとも権力欲利害及び、利害がない場合でも少なくとも大衆の目にはそう見える様に工作するべきである。

政治研究は合法であり、これを拒む政治家はいないが、問題は方法である。

後にも色々書いてありますけれども、チベットをおさえた戦略が日本に対して同じように打ち出されて、それに沿って日本も進んでいる。今の日本でいえば、政治は混乱し頼りになく、日本の国の為になるというものの考え方を各々に先導し、自分の行為は良い事だと思わせながら、結果として弱体化をさせる。

アメリカが日本に行った GHQ の 3S 政策と全く同じ事を中国はチベットに対して行い、結果チベットは植民地化されました。日本はそうならないようにと云う事が、この本の主眼で、心に引っ掛かりましたので、長くなりましたが御紹介をしました。

たまたまペマ・ギャルポさんは、私が属しています民族学会の人だと後で分かったので、あとでお話してみようと思っています。

#### 恒例の質問

・6月に入って嘘をつかなかった。リップサービスの嘘は気にしない。それから相手の為になるとあって、ついた嘘も気にしないという風に条件を緩和しているのですけれども、どうでしょうか。

嘘は、つかないで過ごせば日々を気持ち良く過ごせますので、嘘をつかないようにしましょう。先ほどの対日工作で考えておっかないのは、嘘をつかないけれども、ある方向に誘導しようと思っていると現実に誘導は出来ます。これは「イエス・イエス・イエスの原則」です。

例えば、「YESの原則」について実験をしてみます。

「中谷さんは女性ですか？」

- はい。

「ご主人と仲は良いですか？」

- はい

「あなたは、親孝行ですか？」

- . . . .

親孝行と聞くのはよしましょう。

「親を大切に思っていますか？」

- はい

ここです。「あなたは親孝行ですか」と聞けば、具体的に行動で親孝行をしているかを考えてしまいます。ここでは考えさせない。たいがいは親を大切に思っていますから、返事は「はい」となります。思うのは勝手ですし行動をとまなっていないから、返事がしやすくなります。相手が間違いなく「ノー」と言わないで、そして少しずつイエス、イエスと言って最終的には自分の思う所に誘導してゆくのが、イエス・イエスの原則です。

人を籠絡する時、また味方にする時には「イエス」を繋いでいき、例え敵だとしても遠回りをして最終的には味方にするというやり方を、中国はしているなと感じています。

### 嘘をつかないという柵おろし

イエス、イエスと人を誘導してゆく、その時に「嘘をつかない」という言葉を頭の中に意識してゆけば「嘘をつかない」というのは良い事だと洗脳されてしまう。

嘘をつかないことは良いことだ、私は嘘をつかなかったから良い人生を送っていますと言った時に、はたしてそれで良いのかなと、来年はクエスチョンマークを出したいと思っています。

何故そんなことをするかと言えば、中斎塾フォーラムは、色々な準備期間を経てスタートをさせました。その時に、五年後には法人化をさせると申し上げました。今では委員会を作って一般財団法人化に向けています。

財団法人になった時には、「嘘をつかない」という基本話に一度クエスチョンマークをつけ、どこかで自分が信じているもの、心理的なものにも、クエスチョンマークをつけ柵お

ろしをする。

棚おろしをしないと困ります。

中斎塾フォーラムも、今までの話をいったん棚おろしをして、見直しをし、自分の考え方がよいかどうかを見つめてみましょう。

今までずっと信じてきた友人も途中で棚おろしをする必要があると思います。相手から見て自分は良い友人か、自分は相手を良い友と思っているけれども、本当にそうなのかとお互いの人間関係を一回見直す必要がある。

私の主人はよい人だけでも、長生きで健康にいて欲しいと思う。思ったらば、具体的に私のしている行動は、主人の為になっているかどうか。自分のしている事はご主人の足を引っばっていないかと自戒をする必要がある。

自分の棚おろしができれば、中斎塾フォーラムはどうなのか、日本の国はどうなのか、自分のしている仕事や家庭はどうなのか、自分の人生観はどうなのか、全て見直しを試みる必要があると考えています。

会社経営であれば、お客様はこれで良いのか、経営方針はこれで良いのかと見直す。

例えば、ある百貨店や大手宅配便の社長交代時の話は有名ですが、戦国時代の話でいけばマムシは親の腹を食い破って世に出る、斎藤道三の話も有名です。

ある百貨店は自分の親を叩きだして社長にという会社内の紛争劇があったようです。どこの会社も中で色々と揉め事が起きて、それを乗り越えることによって会社が変わっていくというのは、いくらでもあります。そして大手宅配便は、大きな取引先であった大手百貨店が横暴で強圧的で取引先を見下し、相手を儲けさせない様なやり方だったので、大手宅配便は縁を切りたいと思い時間をかけて下準備をして、腹を括って正式に取引をやめました。最初の頃は、この会社は潰れるよと言われていたそうです。でも、今まであった大きなお客様を自分から切ることによって、また大きな会社をつくりあげる糸口をつかめたと思います。

どこかで自分がしている仕事、内容に疑問符をつけて見直しをして、それで次のステップに進むというのが必要です。

嘘をつかない話しが、ここまで広がってしまいましたが、中斎塾フォーラムも次のステップに進むために、見直し棚おろしを今年一年かけてやりたいと思っております。

・六月に入ってから今月、有難うと言ひ、有難うと言われた方、または言われ続けた人？  
有難うと言われ続けるのは大変で、なかなか苦しいですよ。とにかく夜寝る前に思う事です。

有難うと言われる人生を自ら作り出すというのは、今までの質問の「嘘をつかない」に繋がりますから、嘘をつかない、昨日は良い日だった、そのような日々を過ごすには、身

体も丈夫でなければいけません。

・ご自分の健康法をお持ちの人？

手のあがらない人は55歳以上になりましたら、つるべ落としで体力が落ちるという前提で、どうぞ何かお考え下さい。ちなみに私の母は、50歳頃から夫婦で一日二時間歩いていたそうです。それを20年ぐらい続けていたら、足の筋肉が違うとお医者さんに言われました。ということで何か健康法をご自分なりに見つけてやりましょう。早めにやるのが良いと思います。

### 今日の論語 - 郷党第十

【九】<sup>せき</sup>席<sup>ただ</sup>正しからざれば<sup>ざ</sup>坐せず。

ここで云えるのは、正しくないことはしない。孔子は、座布団が曲がっていたら座らない。厄介な人ですね。座布団が曲がっているから座らないと言えば良いのに、たぶん孔子は言わないで、黙って見ている。私だったら帰りますけどね。座布団ではないですけども、少なくとも帰る事は何回かしています。人からすると酷い態度なのでしょうけれど、人の話を聞く時には、こういう姿勢、こういう態度で聞くべきだと孔子の中にはあります。

安岡正篤先生は、自分が講義をしている時には正座をして講義をしています。お弟子さん達も最初は真剣に聴いていられるけれども、時間が2時間3時間と経つにつれ足もしびれ、中にはトイレに行きたい人達もいて先生の話が全然入って来ない。安岡先生も、その頃は若かったのでしょう。立ちあがった人達には「無礼者」と一喝し、「師が正座をして真剣に講義をしているのに、その様は何だ」と言って、さらにまた一喝。一喝された人は縁側の下に転げ落ちる人もいたという事です。必死になって座って、立ち上がった時には、ひっくり返った人達が、かなりいたという話を聞いたことがあります。

講義を受ける時には「真剣に聴く」、先生も「真剣に話す」ということで、昔の先生方は、講義を聴く者は真剣に聴く事を要求しました。知らず知らずのうちに講義を受ける時、講義をする人の態度は、自然に伝わっていくとお考え頂きたい。

この章にはその様な意味も含まれていますが、学者が説明をする時には、「敷物が曲がっている時には孔子は座らなかった」きちんと直しなさいと指導するという事です。学者が学生に説明をする時には良いのですけれど、社会人にはなかなか向かないです。

私達社会人が論語を読む時には、自分自身の現実の日常生活に役立たなければ、論語を勉強する甲斐がないと思っていますので、どうぞ、そのように御理解下さい。

【十】郷人の飲酒には、杖者出づれば斯に出づ。郷人の 讎 には、朝服して阼階に立つ。

村人が集まって酒盛りをする時に、60歳以上のお年寄りがいたら、退席するまで私は待ちますと孔子が言っている。先に出る様な事はしない。村人達には疫病を追い払う儀式の時には、朝廷に出るような衣服を身につけて自分の家の葬廟の階段、東寄りに立つ。

【一一】人を他邦に問わしむるときは、再拜して之を送る。康子 薬を饋れり。拝して之を受けて曰く、丘 未だ達せず。敢て嘗めずと。

自分の知人を代理として外国に訪問をさせる時には、丁寧に送りだす。呂の大夫・季康子が（病気になった）孔子に薬を送った。そうすると、孔子はその薬を恭しく拝して受けた時に、「この薬が私の病気に効くかどうか分からないので服用は致しません」と答えた。

今は病院に行くとお医者さんが薬を出してくれますが、あまり効用の説明をしないですね、信用するのは友人知人で、この薬を服用したらこのように効果があったという話を聞きます。

私は以前ローターリに入っていました。そこは60歳前後の人達が多く、会合で盛り上がるのは、薬の効果の程度です。糖尿病、高血圧、前立腺、高脂血症、肥満症、それぞれの病に合わせて色々な薬が出ますけれど、効くのはあれだ、これだという事で話題になります。

自分に役に立つかどうか、信用できるお医者さんがいれば、そのお医者さんの話を聞いて、その薬を飲むかどうか決めれば良い。私も、「この薬は飲みたくない。飲まない事によってどのような結果になるか分かってから、飲む」とお医者さんに相談して、2ヶ月間服用しませんでした。でも結果は、数値が悪くなっていると言われたので、仕方なくまた服用することにしました。自分を実験材料にするか、自分とよく似たタイプの人のお話を聞く必要がある。ちなみに私は、中斎塾参与に体型など良く似た人がいるので、会うたびに色々聞きます。自分の健康を考えたら、色々チェックした方がよいと思います。

【一二】廐 焚けたり。子 朝より退きて曰く、人を傷なえりやと。馬を問わず。

孔子が朝廷から帰って来て、馬屋が火事になった。人は大丈夫だったかと聞いて、馬の事は聞かなかった。

この当時、人より馬の方が大事だという感覚がありました。孔子は、人より馬を大事にしてはいないということで、あえて「人は大丈夫か」と聞きました。これは現代にも生きる話です。

【一三】君 食を賜えば、必ず席を正して先ず之を嘗む。君 腥を賜えば、必ず熟して之を薦む。君 生けるを賜えば、必ず之を畜う。君に侍食するに、君 祭れば先ず飯す。疾めるとき、君 之を視れば、東首して、朝服を加え、紳を拖く。君 命じて召せば、駕を俟たずして行く。

君主から食物を戴いた時には、必ず居ずまいを正して、毒味をした。君主から生肉を戴いた時には煮て祖先に供えた。君主から生きた動物を戴いた時には、必ず飼うことにした。外食をする時には、君主が初穂を捧げて祭った場合、必ず毒味役とし戴いた。病気になった時、君主がお見舞いにきた時には東枕で、自分自身の礼服を掛け広帯を横に引いて飾った。君主から御召しがあった時には、馬車の用意を待たないで即歩き出した。後から馬車が追いかけて来る。

最近ホテルの火災事故がありました。女性経営者が泣き崩れて謝っていたテレビを見たのですが、責任感の薄さを感じました。何か問題があった時に、道義的責任は感ずるけれども具体的な責任は取らないという風な考え方が、けっこう世の中に多いですから、自分自身の胸に手をあてて考えてみて下さい。何か問題があった時の責任の取り方は常に考えおく事が必要だと思えます。

### 三つの視点

一番目、民主党の打つ不様な手

二番目、自然災害

三番目、国債の動向という視点で新聞、雑誌、ネットをご覧になると良いでしょう。

### 時事評論

昨日今日の新聞で、「民主党の打つ不様な手」でみますと、まず、中国大使におります丹羽宇一郎さんが、尖閣諸島を東京都が買うという事は中国との間で重大な危機を起こすると云うような内容の発言をしたようですが、丹羽宇一郎という方の人生の中で培ってきたものからみて判断し、良かれと思って発言をしたのだと思えます。それを客観的にみた場合、(伊藤忠の元経営者が中国の大使になったというのは) 商社が中国に対して物を申すことが、どれくらい出来るのかと考えた場合、中国の大使には普通しないのでは...と感じます。民主党の打つ不様な手の一つであると思えます。

中国からすれば、中国にとって良い話を持って来そうな人は歓迎でしょう。ただ最近の動きでは丹羽さんは叩かれていたようですが...。いずれにしても本人は良いと思って、嘘



をつかない、良い事をしようと思ってそのような発言をする。ただ、その発言も結果としては日本と中国の間で大きな問題があります。「中国の心証を悪くしないように日本はもうちょっと大人しく穏やかにやったらどうか」というメッセージを丹羽さんは出した。それ自体は先ほど申しましたペマ・ギャルポさんの対日工作の中で、「日本人が中国人を嫌がらず好感を持たせ、中国に親近感を持つ方向にもってゆき、思想や政治信条などは関係なく、ただひたすら新中国に日本人を向かわせることにある」という観点から見ると、新中国寄りの方を大使に起用し据えた結果が、このような動きに繋がると今朝の新聞を見て感じました。

中国の経済がやっと悪化をいじけてきました。今日の新聞でみますと 0.25%金利を下げ、中国のバブルがそろそろ弾けるなと感じます。

私は去年ベトナムに行って来ましたが、ベトナムの人は中国に対して強く警戒をしているのを感じました。ベトナムを中国に取られないよう、植民地にならないように努力をしないといけない、どのベトナム人と話しても、そのような話をしていました。これは中国周辺の国々は同じ様な感覚を持っているようです。

文化大革命の時に、中国は孔子を非難しました。孔子の直系子孫は、いじめられていたので孔子のこの字も出さず、孔子に関係するものはみな隠し孔子の家系ではないと云って生き延びてきたそうです。それを今では、手のひらを返すかのように孔子学院なるものを作り、今では 130 ぐらいあるそうです。よく臆面もなく世界に孔子の思想を広げようと言うものだと思っています。

目先の 1、2 年だけの感覚で中国の人とお付き合いをするのではなく、やはり 100 年 200 年という単位でみた方が良いでしょう。中国の歴史も、政府が連綿として続いていると思わない方が良い。まるっきり人は変わっていますから、中国の人達はあんな人達関係ありませんという言い方にも変わりますし、付き合いれば付き合い合うほど変わってきます。

私はちなみに大学の論文は華僑考察というタイトルでして、華僑は色々調べました。華僑という人達は、人を味方と敵に峻別する基本的な感覚があるなと思います。

野田総理は大臣を色々任命しましたが、少し引っかけたのは、安住財務大臣です。日本の中間層はいくらですかと聞かれ、国会答弁の中で「年間 200 万 ~ 1500 万円の人達を中間層」と言っていました。アホじゃないかと思う。あとは言いたくなくなるような発言ばかり。長淵外務副大臣は、先ほどの丹羽さんの発言は見識が問われるという言い方をしていましたから、見識という言葉を知っているのかなと思いつつ、どこまで見識の中身が分かっているのか。藤村官房長官が、丹羽さんの発言は政府の見解ではないと言っていました。官房長官の影は薄い。目立つのは野田総理大臣だけですが、野田総理も過去に発言したものと現在の発言とは、かなり食い違っています。今、私が不可解、不思議に

思っているのは、どうして消費税に固執しているのか。政治生命をかけると言っているが、あれも不可解。どうせ言うのなら政治生命ではなく、本当に生命を掛けてやってもらいたい。政治生命だけなら、政治家を辞めてしまえばいいわけですから、そのような代物ではなく、自分の人生をかけるようなつもりでやって戴かないと政治家というのは、ものの役には立たないと思っていますので、ちょっと発言が違うだろうと感じています。

東電の値上げ、一昨日の経済産業省の公聴会で日本国民が参加して「値上げはとんでもない」というのが続出したとありましたが、それは当然です。ただ後ろに透けて見えるのが、9月に経済産業省が値上げをする為のガス抜きを色々仕掛けている内の一貫というのが見えてきます。それは、官僚が政府を操っているという風にも見えるし、逆に民主党というのは操られている政府と言っても良い。ですから、打つ手はみな不様になってゆくのは仕方がない事だと思います。

### 原発や核について

総理が大飯原発の再稼働をしなければ大変だという話ばかりをしています。何故そのような事を言うのか、たぶん野田総理は、先ほどの丹羽さんと同様それは良い事だと信じてやっている。ただ知識・見識・胆識の言葉からゆけば、知識はたくさんあるでしょう、内閣総理大臣として、本当の意味での見識は多分ないのだと思う。人様から色々注入されて終わりという風に、今の総理大臣には感じます。

歴史的な事実をよく調べてゆくと、とんでもない事を日本政府はいくつもしているのが出てきます。それらを丸投げしているのが民主党政権だと思います。

何度も申し上げてきた文明法則史学の中で、今は転換期にあたります。ひとつの国が滅びたり、ひとつの国が誕生したりするというのは、ごくあたり前の時代に入っているのです。ひとつの国の政府がコロコロ変わるのがごくあたり前に起きます。坂道を転げ落ちている現況を更に酷くする役割を担っているのが、民主党政権であるとみれば、それは悪い手しか打たない。民主党政権は、そのような役回りなので仕方がない。仕方がないというのは良くないのだが、そのように見えます。

かつて日本は、核を持つとした時期がありました。終戦後の佐藤内閣の時です。その為のプロジェクトチームを政府は作りましたが、結果として技術的に核爆弾を作るのは簡単ではあるが、しかし政治的に困難である。政治的というのは、アメリカがストップをかけるから諦めたという事です。その辺の経緯はNHKが2010年、村田良平元外務次官にインタビューをした中で、村田良平元外務次官が発言をしていたと言います。

明確に日本は核を考える時期がありました。

色眼鏡で民主党の打つ不様な手をみると、その打つ手は何が目的なのか、また、その目的を追求すると、色々なものが透けて見えます。本人が考えているものの後ろで、どのよ

うな操り方をしているか、誰か操っているかというのが少し見えます。そうすると自分の打つ手も考えられます。

もうひとつ話しますと、日経新聞に載っていたと聞いたのですが、リーマンショックの時に、暴落を仕掛けた人がいて、その人がリーマンショックで数千億儲け、次は日本で数兆円を儲けようと思っているという発言をしたという記事が、まだ調べていないのですが、載っていたようです。

あちこちに仕掛け人がいます。今はギリシャがやられかかっていますし、ギリシャ、スペイン、アイルランド、トルコ、それからフランス。そのリーマンショックを仕掛けた人は、ゆくゆくは日本を狙い、日本で数兆円儲けるといふ発言だそうですから、仕掛け人がいます。その仕掛け人の思った思惑の流れで、だんだん世の中動かされている。そこら辺の時代背景、それらが見えて来ると、ではどういう動きをするかという頭が自分達に回ってきます。

## 国債

国債も今の話に繋がります。国債はどんどん暴落する、ギリシャの国債が暴落したら、抱えている銀行は共倒れになってゆく、共倒れになるというのは不況が起きる。日本も抱えている銀行はやられてしまう。日本も一時期は世界恐慌を引くのは日本が先かアメリカが先かと言われていましたが、最近はどこが火をつけるか分からないという状態にきています。段々尻に火がついてきた。国債から見える世の中というのはそういう事です。

## 自然災害

地震が来るといふのは既定の事実になっていて、少し走りすぎのようですが、私達の身体、家族、会社を守るためには、地震が起きた時にはどうするかという事を事前に考えて、対応する必要がある。

ちなみに私は、毎月一日を自然災害の日と勝手に決めました。その日は何を考えるか、またどの様に行動するか...等々を考えます。

私は緊急連絡先というのを拵えまして、緊急事態が起きた場合には、どう電話をするか、掛けるか、掛かるか。北海道と新潟の友人と九州にかけて、そこから電話をして貰い、安否の確認を取るような動きをと考えています。

自然災害が起きた場合には、どのような対応をするか毎月一日考える習慣を作りました。緊急時には細かく決めておかないと間に合わないですから、けっこう細かく決めています。

時事評論の中で、全体の話と個人的な話をどう結び付けるかを話しました。

財団法人になりましたら、具体的に話をしようかと思っています。

危機が発生したらどのような手を打つか、お金は紙くずになりますから、紙くずになる前にどういう風にお金を集めていて、それをどのように使うか、準備をしてその後に紙くずになっても一向に困らないという動きを来年度には触れたいと思います。